



ごみゼロ宣言

持続可能な資源循環型社会を構築するためには、単に物の生産、消費、回収、再生利用というサイクルをまわすだけに終わらせず、さらに一步進めて限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷を可能な限り低減させなければなりません。

そのためには、「ごみをどう処理するか」よりも、「ごみを出さない」、「ごみをなくす」ことに重点を置き、ごみ処理の体系を持続可能な循環型のものへと転換していく必要があります。

また、ごみとの関わりにおいて、住民、事業者、行政等が、自らの役割を再認識し、意識・価値観・行動を転換することが不可欠であり、個人のライフスタイルや事業活動のあり方、社会経済システムを、ごみ問題を通して変革していく必要があります。

私たちは、こうした考え方のもと、「ごみを出さない生活様式」や「ごみが出にくい事業活動」が定着し、ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された不用品は最大限資源として有効利用される「ごみゼロ社会」の実現をめざします。

「ごみゼロ社会」の実現に向けて、必要な地域社会の仕組みをつくり、持続可能性に軸足を置く文化やものの考え方を育むとともに、それらを後世に継承していくため、ごみゼロ社会実現プランのビジョン・目標を共有しながら協働していきます。

《ごみゼロ社会実現プランの目標》

めざす「7つ」の数値目標（目標年度：2025年度）

- ごみの排出量： 30%削減（対2002年度実績）
- 資源としての再利用率： 50%
- ごみの最終処分量： 0トン
- ものを大切に長く使おうとする県民の率：100%
- 環境に配慮した消費行動をとる県民の率：100%
- 食べ物を粗末にしないよう心掛けている県民の率：100%
- ごみゼロ社会実現プランの認知率：100%

2005年（平成17年）3月30日

三重県子ども会連合会	会長	中口昭太郎
三重県消費者団体連絡協議会	会長	植村 静子
三重県PTA連合会	会長	葛西 徳昭
四日市生活創造圏ビジョン推進協働会議	会長	長尾 計昌
日本チェーンストア協会中部支部	支部長	小谷 徳男
三重県資源再利用事業協同組合	理事長	太田 茂代高
三重県商工会議所連合会	会長	田村 憲司
三重県商工会連合会	会長	藤 田 幸英
三重県市長会	会長	水谷 元
三重県町村会	会長	服部 忠行
三重県市町村清掃協議会	会長	加藤 光徳
三重県知事		中川 昭彦